廿三日 夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町字新町十四
印刷所　紀州活版所
福島縣石城郡平町字新町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊（日曜、祭日）休刊

磐城銀行 本日から休業

緩漫な取付けにあつたゝめ

支配人草野順平氏談

地方金融界に重きをなしてゐた株式會社磐城銀行（資本金全額拂込七十五萬圓、預金三百二十萬圓）は二十二日から六月四日まで二週間帳簿整理のため休業するの止むなきに至つた。同銀行は創立二十年の古い歴史を有し地方に於て信用ある銀行に數へられ取引も非常に廣かつたので同銀行の休業は一般に大なる衝動を與ふるに至り成行きを注目されてゐるが、休業に至るまでの經過について二十二日正午同行支配人草野順平氏は語る。

「昨年金融恐慌に遭ひ東京市に於て中澤銀行、八十四銀行等が破綻して以來殊に中澤銀行は白井博之氏が監査役をしてゐた等何れも白井家の近親の銀行であつたためそれ以來磐城銀行は緩漫なる取付け狀態に遭ひ今日まで二百萬圓の預金を取出された。然るに當時日本銀行の特別資金融通等あり資金の調達を受け今日まで切りぬけて來たが、過般福島市に於ても銀行の破綻問題が起り、金融が愈々逼迫した際每年の如く年度替りで四月、五月は税金、肥料、漁撈の關係で一般が資金を要する際であるため酒造税のみで六十萬圓も預金を引出された等の事情である。五月八日を以て日本銀行の特別融通期間が切れてからは更に困難なる事を豫想したし、日本銀行からの勸誘もあつたので東京市の某有力銀行と合同の話をすゝめてゐたが遂に間に合はず休業するに至つた事は申しわけがない。二十一日から休業の豫定であつたが暗討的に休業しては他の銀行に影響も大きいだらうと考へ二十一日だけ姑息な營業を行つた。今日から休業はしたが銀行合同問題は中止したわけではない。依然合併に向つて交渉を進め預金者には迷惑をかけないつもりである、今後の方法は重役會に於て決定するので目下の處具体案はない。福島から白井博之氏の歸るを待つて解決する方針である。

白井氏 農銀頭取辭任

磐城銀行は休業するに至つたので同行重役にして農工銀行頭取である白井博之氏は二十二日頭取を辭任し歸平する事になつた而して磐城銀行の整理に努力する筈である。

磐城銀行の休業が 他銀行に及ぼす影響

大した事はない

平銀行端山支配人談

磐城銀行の休業によつて最も大なる影響を蒙るのではないかと一般から見られてゐるのは磐城銀行と共に地方金融界に覇を唱えてゐる平銀行であるが、磐城銀行が休業を發表した二十二日の平銀行窓口には預金者も來れば拂戻者も來る、平常と何等變りがなく平穩である、磐銀の休業による平銀への影響や將來の方針について平銀行端山支配人は語る。

「御覽の通りの平靜である。取付け等の狀態は毫末もない。磐城銀行の休業によつて假りに多少の反動があつたとしても平銀行の內情は日本銀行がすきとほる程知つてゐるし有價証券も八十萬圓位所持してゐる上現金も多數用意してあるから少しも驚かない。預金拂戻しにはいくらでも應ずるし預け入れも今日までと同じやうに預かる。休業などは斷じてせぬ」

逆に地方金融界の消息通は語る

「磐城銀行が休業するに至つた事は遺憾な事である。同行の休業が地方銀行界に相當の影響を與へるだらうと思はれてゐるが、その影響が優良な他の銀行まで及ぶとすれば大問題であるから預金者はこの際冷靜な態度で銀行に迷惑をかけぬやうな態度に出づべきであらう。」云々」

男女學生の 風紀取締協議

平町公私立各學校校外生徒の風紀、交通取締協議會は二十六日午後一時から磐城高等女學校に開會し取締上に關する諸規程を制定する筈で當日は磐中、磐女平陽、藤田、平商業、磐城佑賢各學校當局の外豬狩平警察署長豊崎平驛長等出席する。

二流どころの宿屋に 酌婦が出張

平署の目光る

炭礦界の消長によつて町の活況が左右される平町は應報の如く附近各炭礦が未曾有の行詰りに遭遇して苦境にある折柄一般市況は沈滯して振はず之が影響として最も打擊を受けてゐるのは花柳界方面で昨今花街のさびれ方は話にもならぬ程の有樣で藝妓も同樣の憂目を見てゐる。この不景氣の結果、南町に巢食ふ私娼の跋扈は甚だしさを極め從來は街頭で客引と稱する一種の誘惑を試みた位のものが最近では手段が露骨になり出張營業をなす者が增えて來た、即ち二流、三流の宿屋と特殊契約を結びその宿屋から通知によつて酌婦は客の相手となり風紀を紊してゐる有樣で平署では之を一掃すべく目を光らしてゐる。

本莊幽蘭女史から 六十尺の長い手紙

四十錢の書留で平署に配達

告訴を延期してくれとの賴み

平警察署開闢以來どころか恐らく日本全國で一番長い記錄であるかも知れない程長い手紙が二十一日四十錢の書留料金で平署に配達された、手紙は江戶川大巻二本を繼ぎ合して尚ほ足らず更に三尺程つぎ足して五十八尺八寸といふから十間の長さ、これを完全に讀んだのは松本警部補で讀み初めては客が來るして三度目で漸やく讀み了えた、所要延時間一時間半とある。この氣違ひじみた手紙の差出人は過般平町に來り住吉屋本店に泊り込んで平劇場で氣焰を吐く筈の處料金を拂つた入場者が七八人しかなかつたといふ千人斬りで有名な元女優、新聞記者、女中、藝妓と凡ゆる職業を試み現在では編物講習會の講師兼東北發音矯正會の會長本莊幽蘭事本莊久代（五〇）で內容は同人が關係してゐる高木新平一行が去る三月地方巡業中失敗に失敗を重ね本縣原町、平、小名濱、湯本等を廻つてゐるうち宿料は拂へず小名濱町橋本屋旅館では告訴する旨中村町の幽蘭宛通知したので告訴受理を延期して貰ひ度いといふ意味で、要件は最後の五行で盡きてゐる。

如來寺の牡丹 今が見頃

四倉町字新町如來寺では住職小松學俊氏が數年來丹精をこめ同寺境內から裏山を[illegible]園し寒牡丹を加へ總數百余種一千株に上る牡丹を植え今年から漸やく花を見せ目下今を盛りに咲き亂れ相、双方面からの團体その他の見物人で賑はつてゐる。

鼻の藥「チクノール」
平五 山野邊藥局

女運轉手の 生活に憧れて

十九の娘家出

平町尼子自動車部の女助手茨城縣鹿島郡新宮村大字鎌田榮太郎長女岡山まつの（十九）は實父からの搜索願ひにより二十一日平署に補はれ運轉手になるまでの經路を聞いた處、まつのは實家で家事手傳をしてゐるうち女運轉手の生活に憧れ運轉手を志して家出し戀人なる山口四郎（二四）が尼子自動車部の運轉手をしてゐるのを賴つて助手となり夫婦氣取りで運轉してゐたもので平署ではまつの並に四郎を呼び出し說諭した上引取りに來たまつの實兄に引渡した。

修學旅行通信

磐高女四年生

（四）

濃美の平野を走る一筋の煙と共に私達は昨日一日親んだ湖畔の町大津に別れました、行く手は遠く富士山麓の沼津、中腹に雲を纏ふた伊吹の山が高く蒼空に聳ねて湖畔に迫る麓の平野には麥の穗に美しいれんげの毛氈が敷きつめられて居りました、汽車は新綠の平野を東方へと向つて走つて行きます、濱名湖は初夏の陽の光に乳色に煙つてぼつかり浮んだ二つの島も初夏の惠をうけて綠に燃えて居ました、辨天島は濱名湖の一部分ですけれども土地會社の埋立地などがあつて天來の風景を傷けられてゐる樣な氣がしました之を見ると文明の力を呪ひ度くもなりました、汽車が何時か興津にかゝつたと思つてゐるや否に隣に腰かけて居た人が自然の姿美しい田子の浦や三保の松原を指してくれました其時でした、富士が前方に向つて右手に玲瓏の姿を見せたのは、汽車が由比が濱についた時に、左手に見えた富士は先程の富士はまだらに谷あひに雪を殘す中腹の薄くもをはらかに支へた富士だつたのに今見た富士は灰色の雲に壓されて汽車の煤煙に汚れた富士でした、北村透谷さんが「遠く望めば女の如く、近づけば威嚴ある男子の如し」とか言ふ意味の詩があつたのも肯かれました、七時頃目的の宿へつきました、九時まで茶話會を開きましたが皆樣が女學校時代の最後の旅行といふので可成努力してくれましたので隨分盛會でした、明日は早く江の島に向つて出發します、旅の夜は靜かに靜かに更けてゆきます。（二十日）

理髪組合役員會

石城郡聯合理髪組合役員會は二十二日午前十時から湯本町勇屋旅館に開き左の各件を協議した

▲平警察署管内組合長江名町菅野長十郎氏辭職につき後任決定の件

▲今夏總會開催の件

▲營業者を強制的に組合に加入せしむる件

本年の流行色

松坂屋出張員　成瀬三吉氏談

今年服裝界の流行に就て來る二十三日から市内住吉屋旅館に出張する東京上野松坂屋出張員成瀬三吉氏に其の概要を叩けば左の如く語る「本年の流行色としてはコバルト（納戸色）が全盛であります、此の對照は引立ちも良く調和もよいものとしてアップリコット（あんず色）が選ばれて居ります、さうして是等の流行色は必ずしも地色のみに限らず柄、模樣の部分的にも全体を活かすやう自由に用ひられる樣になりました、模樣の樣式は新しい時代の實生活に適合し其の環境に調和する樣大まかな構圖自然の單純化、色調本位、伸びやかな氣分、力強い感じ、明快な調子、温雅な氣品等の特徴を具へた「新日本模樣」が迎へられて居ります、服裝の模樣として和洋新舊の區別なく眞に新らしき一の時代樣式の創生が望まれて居るのであります。

免囚餘論（三）

慶大　北郷生

私は原始的な應報思想を述べるために岐路に入りました、再び論じますが私共は古代に於ける應報の觀念は頗る強かつた事を思ひます、そこで刑罰は犯罪に對する應報であると考へは牢として拔くべからざるものがあつたのであります、だから腕を折られた者は相手、即ち仇の腕を折つて以て滿足したのであります、然し國家といふものが作られ、刑罰權が國家へ移つてからは所謂自力救濟は禁止せられ但緊急狀態（正當防衛と緊急防衛）に例外が認められるにすぎなくなりました、又彈劾の樣式も公的彈訴（檢事のやうな國家機關が行ふこと）に移りました、赤穗四十七士の仇討も懲罰の權國家に移つた後は掟に反することゝなりました、然し私達は赤穗義士傳を再讀し痛快を覺ゆるのであります、といふのは私達の腦裡にも亦應報の觀念が根強く根底してゐるからであります、刑罰の權が國家に移された後に於て、それが適當に行はれたであらうか、自力による救濟は無警察な野蠻な社會に存するのですが、國家が救濟の任に當つてからも幾多の變遷を經ました、いはゆる警察國家が此過渡期に現出し、國家は權力を濫用して私人の私、公權を不當に壓迫いたしました、著名なフランス革命（一七八九年）が即ち之に反抗した運動でした、近代の社會思想はこのフランス革命を以て一轉機を劃しました（詳細は古部博士フランス革命史論、厨川博士近代文學十講）刑法上の大原則たる罪刑法定主義（日本舊刑法第二條法律ニ正條ナキモノハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰セス）はこの一七八九年の人權宣言第一條「人ハソノ出生及ヒ生存ニ於テ自由及ヒ平等ノ權利ヲ有ス」その第十七條「所有權ハ不可侵ニシテ且神聖ノ權利ナリ」から展開し、諸文明國之に倣ひ我憲法も亦第十九條に「日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ均シク文官ニ任セラレ及其ノ他ノ公務ニ就クコトヲ得」その第二十七條に「日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サルルコトナシ」に之を採つてたります、この点から立憲制度法治制度確立し、個人の意思の自由を認め、所有權不可侵の原則、契約自由の原則等が續いて確立いたしました。

貸家
新川町一七
商店向月十七圓
新川町
中野勇吉

昭和三年度
春の粧ひ！
新柄が豊富に取揃へました
是非御覽下さい
新館陳列
模樣銘仙
京御召
小紋錦紗
帶側
平町
三井呉服店
電三八〇七五一

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科
高久病院
院長　高久忠
平町　電話一三五

謹告
本日より六月四日迄帳簿整理のため二週間臨時休業可仕候
昭和三年五月廿二日
株式會社　磐城銀行

醫院開始
外科專門
診療科目
外科一般
脱腸肛門病科
花柳病科
▲診療時間（午前八時より午後九時まで但し急患は此の限にあらず）
入院隨意
平町田町大通り（電話四三六番）
安齋外科醫院

問題の發聲映畫大公開
廿三日ヨリ二日間
斯界の泰斗
生駒雷遊說明
生門死門
幻想の印度
曲高田雅夫
陸軍戸山學校
スペアミント六段
指揮辻順治
小品舞踊影
大歌舞伎
素襖落
東京大名題
松本幸四郎
河原崎權十郎
彼は復讐を忘れたか
新進
仙石雷溪說明
普通入場券割引券御斷
入場料
特等壹圓
壹等七十錢
普通五十錢
小人半額
平館

見よ
▼世界の驚異!!!人類科學文化の極致▲
見よ、科學の進化！數十人の奏ずる音響も唱歌も鳥の聲も、更に數十萬人が歡呼の聲も波の音も風の叫びも、宇宙に生ずる總ての音響は物体の撮影と同時に其フヰルムに納められ、映寫に際し映畫より眞の肉聲を發す。
賜天覽
もの云ふ
寫眞
[illegible]

牛豚肉特價提供
牛肉　中肉百匁　金三十錢
上肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢
豚肉　中肉百匁　金三十錢
上肉　同　金四十五錢
ロース　同　金六十錢
平町停車場前（平劇場入口）
食肉の廉賣王
深谷牛肉店
電話五二四番
印刷物の御用は……加納活版所